

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0872000997		
法人名	医療法人社団柴原医院		
事業所名	グループホームつきの森		
所在地	つくば市西高野842-4		
自己評価作成日	2019年3月5日	評価結果市町村受理日	2019年6月17日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0872000997-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 認知症ケア研究所
所在地	茨城県水戸市酒門町4637-2
訪問調査日	2019年5月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

緑に囲まれた静かな環境です、建物内は明るく敷地内には畑があり、利用者様と共に季節の野菜や果物、花を作り、梅干しやたくあんを漬けます、そば打ちやすみつかれ等四季折々の行事と郷土料理に力を入れている、また近隣の幼稚園、小学校、子供会や老人会との交流やご家族やボランティア、販売など毎月何らかの訪問があり地域に開放されたホームになっている。
利用者様との買い物外出はほぼ毎日行い、リクエスト献立の日を多く設け、おやつも手作りに勤めている。散歩等もほぼ自由に出来るようしている。
健康面では定期的な訪問診療のほか他の医療機関にも相談でき、利用者や家族が安心して生活できる体制になっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

緑豊かな自然を満喫できる環境にある。医療機関が母体である為、利用者はもちろん、職員も安心して日々をすごせているとの話があった。利用者が居室に案内してくれ「いい眺めでしょ。静かだし、ハナミズキがとってもきれいに見えていたのよ。」と誇らしげに語ってくれた。理事長から「笑顔があふれる楽しいホームにしてほしい」との話があり実践しているとのことで、訪問当日は大きな笑い声と笑顔で迎え入れられた。ホーム内は歌声や笑い声が溢れ、とても温かい気持ちになった。夏祭りや『ポンポンつき』などで地域の子供達が訪れ、利用者の楽しみの一つとなっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を作成、掲示し管理者・職員で共有実践している	職員は利用者と一緒に洗濯物を干したり、お茶碗を洗うなど、理念に沿って日々の支援をしている。笑いのある生活をめざし、温かい雰囲気の中でケアしており、職員は特に理念を意識することなく、自然と実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	春は初午の行事で近所の稲荷神社に供え物をする、夏はお祭りの子供御輿が事業所に来るほか秋には地区子供会の豊作祭りの訪問等、散歩時には挨拶を交わすなど一年を通じ地域の一員として生活している	夏は子ども神輿、秋には地元特有の豊作を願う行事の『ボンボンつき』などを子供達が披露しに来てくれ、利用者は外に出て楽しそうに見学をしている。散歩コースに運動公園や保育所、小学校などがある。最近、そのコースに駐在所が移転されたので、後日、挨拶に行く予定とのこと。ホーム前が乗合タクシー『つくたく』の停留所になっており、地域の方が利用している。知り合いの畑や栗畑に収穫行くこともある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括支援事業の『認知症よろず相談所』の相談窓口になっている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	各月ごとの運営推進委員会において地元の民生委員、市役所の職員等の参加をして頂き、そこでの意見を業務に反映させている	隣接された同法人のグループホームと合同で行い、民生委員、市職員、母体の病院職員が委員となっている。車両事故が議題にあがり、市が交通安全協会に連絡をしてくれ、同協会から指導を受けられることになった。地区の民生委員は9人で、全員が参加しての会議も設定している。今後も家族の参加が得られるよう促していく。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市高齢福祉課・社会福祉課・包括支援センターと必要に応じ連絡・連携をとっている	運営推進会議の他、地域密着型サービス連絡会にも出席しているので、行政は身近な存在となっている。包括支援センターから相談を受けることもあり、市とは良好な協力関係が構築されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎年内部、外部研修を行い職員全員が具体的な行為を理解しており意識をもって拘束をしないケアに取り組んでいる	地域密着型サービス連絡会の研修に参加し、後日、伝達研修を行った。リスクマネジメント会議を毎月開催し、歩行に不安がある人への対応などを検討して記録している。拘束の必要がある場合には家族に説明し、書面で同意を得ている。『虐待の目』チェックリストによるアンケートを行い、職員の意識付けを図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を受講した内部研修を行い虐待がなんであるか理解し防止に努めている、また職員間のコミュニケーションを図りストレスの無い介護を心がけている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社会福祉士のスタッフが中心となり外部研修や講演会などに参加している、又必要性を感じられる御家族へは権利擁護の説明を行い活用に向けて支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時において重要事項説明書及び利用者契約書をもとにご家族に説明をする、またご家族から質問があれば随時話をし納得をいただいている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御意見箱を設けているが、ご家族が面会時に意見や要望を直接話しており、すぐに対応し早めの解決を心がけている	面会時に声をかけたり、話しやすい環境づくりを心がけている。年1回の家族会は出席率もよく、家族間の交流も図られている。利用者が職員と一緒に調理を行うことについて疑問が出されたことがあったが、グループホームの意義などを説明し、納得いただいた。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行うミーティングやカンファレンス、その他雑談の中等で機会を設けており、意見や提案に対してはすぐに反映している	ミーティングで話し合ったり、雑談の中で意見を聞くことが多いが、必要に応じて個人的に話を聞くこともある。職員からの要望で、夜勤手当の値上げや希望休など、処遇改善につながった例もある。職員の家庭事情等にも配慮した処遇を図り、職員からも相談しやすい環境であることが確認できた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の能力や特技を理解し業務配置を行い、やりがいのある職場環境を作っている、また努力や実績、勤務状況を昇給・賞与に反映させるなどしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修は定期的に行っており、外部研修は内容をポータルに張り出し参加を募っている、研修後は報告書を挙げ参加できなかった職員も観覧できる体制である、就労後に各資格を習得した職員も数名いる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス連絡会での交流連絡会主催の勉強会に参加し質の向上に取り組んでいるまた、隣接するグループホームとの交流も深めている		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	自宅に訪問をして話をうかがう、入所後も本人の意向を聞きながら安心して生活ができるよう関係を築いている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	電話や来所などで相談に来られた時から何に困っていて何を求めているのか、家族の立場を理解し、私たちがどのような対応ができるかなど話し合っている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の内容により、居宅のケアマネ等と連携しながら柔軟な対応をしている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	朝の掃除や食事の下ごしらえ、畑の栽培、梅干しやたくあん作り等入所者様からの知識も取り入れ一緒に行っている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご希望でご家族での夕食や外出の機会を設けたり、家族会ではご家族様も参加をして頂くなど本人を中心とした関係を築いている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの人の面会等進めており、会話の中で行きたい場所やお店、自宅など機会を設けドライブに行っている	友人や元の同僚、家族以外の親戚が訪ねてくることもある。家族と通った食堂に行きたいとの要望に応えた。送迎付きで美容室の利用を継続している方がいる。美容室の方は家族会にも出席し、美容講習を行って好評であった。自宅が心配になり職員と一緒に見に行ったり、庭のキウイを収穫してくる方がいる。利用を開始したばかりで不安になっている方を自宅に連れていき、家族と過ごす時間をもつことで、いつでも帰れることを理解してもらい、安心して頂けた例がある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	同じ趣味や気の合う方、会話好きな利用者様の席を近くにし、お互い支えあい関わりあえる関係を築いている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所した後も、次の施設を訪問したり、入院先に見舞いに行っている、家族やご本人の相談は常時受けている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で把握に努めている、意思疎通が困難な場合は様子を見たりご家族にうかがったりしている	本人の行動に疑問を感じた時には職員同士で話し合い、対応を検討している。家族の希望と、本人の思いが違うこともあり、丁寧な聞き取りで対応方向を話し合う。一人ひとりの自室にアルバムを置き、ホームでの活動を家族に理解してもらうようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前後に家族や利用者又、居宅のケアマネ等から聞き取り記録している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のかかわりの中で記録し申し送り等で把握している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントは職員が輪番で行っている、ご本人や家族の意向をうかがい、担当者会議で話し合いを持ち介護計画を立てている。変化があれば随時意見を出し合い対応している。	センター方式でアセスメントを行い、担当者会議を開催してプランを作成、家族に説明して同意を得ている。ケアプランチェック表で毎日評価していたが、職員がケアプランを意識して支援することができるようになったので、チェック表を一時中止している。介護記録や日誌、ケアカンファレンスで、3か月ごとにモニタリングを行い、次の計画につなげている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録は『排泄チェック表』『利用者処置表』『バイタルチェック表』『食事摂取量』『介護記録ファイル』『業務日誌』に記録しておりそれをもとに介護計画見直しなど行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご自宅が心配な利用者様には、ご自宅にお連れしたり、買い物や外来受診など状況に合わせて行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	世代間交流により保育所や小学校と協力している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医とは毎月の訪問診療のほか相談や報告を行っており、緊急時は24時間連絡が取れ対応が出来る体制になっている	月2回の訪問診療を受け、必要に応じて家族に状況を報告する。専門病院等の受診は家族が付き添い、口頭でいただいた報告は記録に残し、文書でやり取りすることもある。訪問歯科を利用する方もいる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	バイタルチェック時や入浴介助時、毎日の小さな気づきも看護師に報告し、身体状況に応じ主治医への相談医療機関への受診をしている、		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は職員が同行し医師や看護師と情報を交わし入院中は見舞いや家族との連絡を密にしている、また早い段階で退院ができるよう情報交換をしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時の段階で『終末期ケアの指針』の用紙の説明をし意向を聞き記入して頂いている、状態が変わる時に意向を聞きなおしている	契約時に『終末期ケアの指針』の説明をし、同意をもらう。段階的に延命についての話し合いもする。看取りを希望がだされた時には、勉強会や話し合いを何度も行い、職員の理解を得られるようにした。現在は自分が看取りたいと思う職員も出ている。食べることが困難になり入院した利用者を、退院後、看取りまで支援したときには家族から感謝された。職員は医師とSNSで連絡が取れる状況にあり、24時間体制で指示を仰ぐことができる。また、看護師である職員から指導を受けられることも、不安の軽減に繋がっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急処置や初期対応はマニュアル化し観覧できるようにしている、緊急の場合には、医師、管理者、看護師にすぐに連絡できる体制になっている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎年3月11日に震災を忘れないよう、色々な状況に応じた避難訓練を年数回行い、防災の意識付けに非常食による食事を提供したりしている。震災を教訓に非常食、や水の確保をしている	隣接の同法人グループホームと合同で、避難訓練を実施。消防署から講評を受けて、シーツで移動する場合のシーツの厚みなど、振り返りを行っている。煙体験の時には、喘息のように咳き込んだり、歩けなくなってしまう利用者があり、怖さを体感している。夜間の場合は、近くに住む職員の応援や、隣のグループホームとの連携をマニュアル化している。備品の確保や非常食の入れ替え等も計画的に行っている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	特に排泄の問題では、利用者様の中には汚れた下着など丸めて隠している場合がある為、そっと洗濯しタンスに戻しておくなど、個々に合わせた対応を心掛けている	名前の呼び方は本人の希望に沿っている。面会簿は個票を使用し、プライバシーの確保に努めている。利用者間のトラブルには、職員が細心の配慮をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々に違う為、表出の困難な方には時間をとって会話を持ったり、言葉かけを工夫している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や入床時間、日中での生活は、ゆっくりお茶を飲んで過ごしたい方やレクで楽しみたい方など様々で一人ひとりのペースに合わせて支援している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容院も外出や訪問でカットやパーマ、毛染めをしている。洋服はほとんど自己決定できるよう環境作りをしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も同じメニューで必要以上に刻まない工夫や、利用者様の意向を聞きおやつや『お楽しみ献立』で希望に沿った物を用意している、また下膳やテーブル拭き下ごしらえ等手伝っていただいている	配食業者のメニューを基本とし、要望に応じて、天ぷらやオムレツなどに替えることもある。ゼリーやパフェなどのおやつ作りに力を入れ、その食べ方で新しい発見をすることもある。下膳・配膳・畑で収穫した野菜の下ごしらえなどを一緒に行う利用者もいる。庭で行うバーベキューやサンマの丸焼きは好評で、利用者は上手に食べることができる。外食はホーム内のメニューにはない、寿司を好む方が多い。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各人にあつた量を把握し、朝食の習慣が遅い方にも対応している、水分はお茶やコーヒーが一日を通いいつでも飲める環境である、また飲み込みの悪い方にはとろみを付け一日の量を記録している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアと、入れ歯を使用している方には夕食後容器に入れ次の朝まで洗浄する、歯磨きやうがいがかまかない方には、職員がウエットシートを用い口腔ケアを行っている		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	夜間おむつの方、ポータブルの方が数名いますが、日中は個々に合わせた時間で全員トイレ誘導や声かけをしている	日中は、その方のタイミングや時間をみてトイレに誘導しているが失禁は多い。トイレは各ユニットに3ヶ所設置されているが、不思議とタイミングがかち合い、困ってしまうことが多々あるとのこと。パットを流してしまう方がいたり、排便の把握をする為に、トイレ内に一緒に入って介助している。利用者が負担するおむつ代は上限を設け、家族の経済的な負担軽減を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排便の状態を把握している、牛乳や果物、内服薬をその時の状態に応じて対応している、またホール内の運動も個々に合わせて行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	季節に応じゆず湯や菖蒲湯、そして入浴剤などで気分良く入れる工夫をし、365日入浴ができるようにしている、また順番等も希望に応じている	週2～3回の入浴であるが、交代で入浴しているため、希望あれば毎日の入浴も可能。脱衣室にはエアコンが設置され、足ふきマットも個人別に使用し、感染防止に配慮している。着替えの服などは、本人と職員で選んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	冬場は希望に応じ、湯たんぽや加湿器、パネルヒーター等を使用している、居室には自由に出入りができ、いつでも休めるような環境になっている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様のファイルに処方内容が明記されており、症状の変化時は医師、看護師に確認するよう周知している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴に合わせ、畑作業(ナス、キュウリ、まめ、トマトなど)や園芸、庭掃除、集めた枯れ葉で焼き芋を楽しんだり、梅干し作りやたくあん作りを行うなど一年を通し時節を楽しんでいる		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣の公園散歩やドライブ、買い物、自宅等個々の希望に沿った介助をしている、また水族館やお参りなど希望に沿ったイベントを行っている	一人で散歩をする方がおり、帰りが遅くなって迎えに行くこともある。天候が悪く、散歩に出られない時には庭にでて、お話をしたり爪を切ったりする。以前より回数は減っているがドライブがてら神社に行ったり、ポピーや鯉のぼりを見に出かけている。ホームの買い物に行く時に利用者を誘うこともある。家族と出かけたり、外食をしてくる方がいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	スタッフ管理のもと、また小遣いを所持している方もいて買い物が自由にできる、訪問販売もありお金を自分で使う楽しみ、品物を選ぶ楽しみができる		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務所の電話が自由に使える電話をかけたり取り次いだりしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全体に広く明るい空間を心がけている、ホールのテーブルには季節の花をさし季節感と話題性を持ち利用者様が心地よく過ごせるよう工夫している、ホールの壁はレクの一環として張り絵や飾り物を行い季節感を出している	庭の畑にはジャガイモやスイカがすくすくと育ち、利用者の楽しみとなっている。大きなホールでは利用者の歌声や笑い声が響き、明るく温かい雰囲気があった。室温は席により違いが出てくるため、利用者の希望に沿うようテーブルを移動するなどの配慮をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにはテーブル席やソファ席があり将棋やビデオ、カラオケなど思い思いの生活ができる		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々により、冷蔵庫やテレビお茶セット、家具の持ち込みや壁飾りなど居心地の良い生活ができるよう工夫している	部屋の名札の下には、職員がその人をイメージして描いたイラストがかけられていた。持ち込みを禁じている物は特になく、馴染みの物を持ち込めるが、ベッドや布団、毛布はホームでも用意している。家族の写真が飾られ、家族と一緒にの時にはお線香をあげることもできるなど、利用者の好みの部屋作りがされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様各人の目の高さに合わせ、ドアに記銘しお一人でも行きたい所に行ける工夫をしている		

(別紙4(2))

事業所名: グループホームつくしの森

目標達成計画

作成日: 2019年6月17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	利用者からの申し出において、「エアコンの風が当たる」との話があり、テーブルの移動を含め対処していたが、テレビが見つらいなどの問題があった。	少しでもより良い移住環境の整備	市販のエアコン吹き出し口調整羽の設置	1ヶ月
2	52	介護計画やモニタリングは、担当者会議で聞き取りをしているが、当日休みの職員からの聞き取りができない。	全ての職員からの聞き取りを行う。	出席できない職員からは、別途聞き取り時間を作り、意見の反映ができるようにする。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。